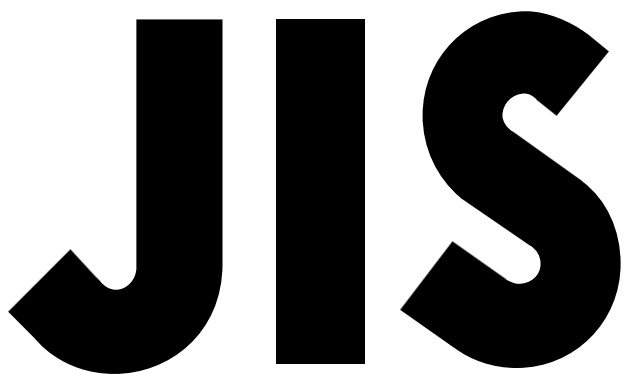




IT アセットマネジメント — 第 5 部：概要及び用語

JIS X 0164-5 : 2019
(ISO/IEC 19770-5 : 2015)

(IPSJ/JSA)

令和元年 11 月 20 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第二部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	大 崎 博 之	東京大学
(委員)	青 柳 恵美子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	伊 藤 智	一般社団法人情報処理学会情報規格調査会（国立研 究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）
	岩 渕 幸 吾	一般社団法人電子情報技術産業協会
	内 田 富 雄	一般財団法人日本規格協会
	江 崎 正	IEC/SMB 日本代表委員（ソニー株式会社）
	住 谷 淳 吉	一般財団法人電気安全環境研究所
	高 村 里 子	全国地域婦人団体連絡協議会
	田 中 一 彦	一般社団法人日本電機工業会
	橋 爪 弘	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	平 田 真 幸	IEC/CAB 日本代表委員（富士ゼロックス株式会社）
	藤 原 昇	一般社団法人電気学会
	水 本 哲 弥	東京工業大学
	山 根 香 織	主婦連合会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和元.11.20

官 報 掲 載 日：令和元.11.20

原 案 作 成 者：一般社団法人情報処理学会

（〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3431-2808）

一般財団法人日本規格協会

（〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530）

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第二部会（部会長 大崎 博之）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	2
2 引用規格	2
3 用語及び定義	2
4 IT アセットマネジメント (ITAM) 及びソフトウェアアセットマネジメント (SAM)	10
4.1 序論	10
4.2 ソフトウェアアセットを管理する必要性	11
4.3 基本原則	12
4.4 他の規格で定義された原則との関連	13
4.5 プロセス定義の原則	13
4.6 プロセス定義の適合評価	14
4.7 情報構造の原則	14
4.8 情報構造定義の適合評価	14
4.9 重要成功要因	15
5 ITAM 規格群	15
5.1 一般情報	15
5.2 特定のプロセスの規格	16
5.3 プロセス規格群へのガイダンスを記載した標準報告書	16
5.4 情報構造を規定する規格	17
5.5 情報構造規格のガイダンスを記載した標準報告書	18
5.6 規格の概要	19
参考文献	20
解 説	21

まえがき

この規格は、産業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人情報処理学会（IPSI）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS X 0164 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS X 0164-1 IT アセットマネジメントー第 1 部：IT アセットマネジメントシステムー要求事項

JIS X 0164-2 ソフトウェア資産管理ー第 2 部：ソフトウェア識別タグ

JIS X 0164-3 IT アセットマネジメントー第 3 部：権利スキーマ

JIS X 0164-4 IT アセットマネジメントー第 4 部：資源利用測定

JIS X 0164-5 IT アセットマネジメントー第 5 部：概要及び用語

IT アセットマネジメント—第 5 部：概要及び用語

IT asset management—Part 5: Overview and vocabulary

序文

この規格は、2015 年に第 2 版として発行された ISO/IEC 19770-5 を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

概要

ソフトウェアアセットマネジメント (SAM) のための JIS X 0164 規格群は、ソフトウェアアセット及び関連する IT アセットをマネジメントするプロセス及び技術の両方に対応している。IT は、今日の世界におけるほとんど全ての事業にとって基本的な要素になっている。したがって、これらの規格は、IT の全てに強く融合しなければならない。例えば、プロセスの観点からは、ソフトウェアとそのマネジメントシステムとは、新しいマネジメントシステムの基本的要素であることから、SAM 規格が、全てのマネジメントシステム規格で使えるものでなければならない。技術の観点からは、情報構造のための SAM 規格が、ソフトウェアマネジメントデータのデータ相互運用性だけでなく、ソフトウェアの利用においてより効果が期待できるセキュリティのように関連する利益の多くの基礎を提供する。情報構造の SAM 規格は、また、識別及び緩和による暴露をより自動化させるソフトウェア認証及び国際ぜい（脆）弱性データベースの接続を改善するような IT 機能の重要な点を容易にする。

SAM 規格群

JIS X 0164 規格群の規格は、プロセス及び技術の両方を使いソフトウェアアセットマネジメントシステムを導入し、運用するあらゆる種類の組織を支援するように記述されている。JIS X 0164 規格群は、まえがきに記載されている規格で構成されている。

注記 1 ISO/IEC 19770-4, ISO/IEC 19770-6, ISO/IEC 19770-9 及び ISO/IEC 19770-10 は、取り消されたプロジェクトに関連するか又は将来のために予約されている。

注記 2 ISO/IEC 19770-4 は、JIS X 0164-4 として、既に発行されている。

この規格の目的

この規格は、JIS X 0164 規格群の内容及び関連する用語についてのソフトウェアアセットマネジメントの概要を定義する。

この規格は、次のような箇条で構成されている。

- 箇条 1 適用範囲
- 箇条 2 引用規格
- 箇条 3 用語、定義、シンボル及び略語
- 箇条 4 ソフトウェアアセットマネジメントの紹介、他の ISO 及び ISO/IEC 規格と SAM 規格との位置付け、並びに SAM プロセス及びデータ構造の原理の定義